

全国学力・学習状況調査の調査結果について

初秋の候 保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に御理解と御支援をいただき、ありがとうございます。

さて、4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きました。つきましては、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますので御覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

本校は、文部科学省および愛知県教育委員会が示した「序列化や過度な競争とならないようにするため、文部科学省から提供された平均値等の数値そのものを公表しない」「データを分析し、改善すべき点の把握に努める」という方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

2 本校の概要

国 語		平均的な状況である。さらに伸ばしたい点がある。 ・観点別では「思考・表現・技能」の力が高い。その中でも「読むこと」の領域では、目的に応じて必要な情報を見つけたり、理解したことに基づいて自分の考えをまとめたりすることがよくできる。「話すこと」の領域では、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を とらえる力がある。 ・「知識及び技能」では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の中で、文章の種類とその特徴についてよく理解している。 ・今後は、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を付けたい。また、敬語を正しく使ったり、日常使う敬語を理解したりする力を伸ばしたい。
算 数		満足できる状況であるが、伸ばしたい点がある。 ・観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」共に満足できる。特に「思考・判断・表現」はとてもよくできる。 ・「図形」の領域では、台形や正三角形などの図形の意味や性質についてよく理解している。 ・「数と計算」の領域では、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や文章で記述したり、加法と乗法の混合した式の計算をしたりする力がある。 ・「変化と関係」の領域では、二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数値の求め方を式や言葉を用いて記述することができる。 ・今後は、「数と計算」領域の、（ ）を用いた式を、場面と関連付けて読み取る力や割り算の筆算について、図を基に商の意味を考える力を付けたい。
児 童 質問紙	家 庭	・90%以上の児童が、人が困っているときは、進んで助けると思っている。また、95%以上の児童が、人の役に立つ人間になりたいと思っている。 ・80%以上の児童が、毎日同じ時間に寝たり起きたりすると答えている。 ・90%以上の児童が、朝食を毎日食べることができている。 ・毎日朝食を食べ、同じぐらいの時間に寝たり起きたりしている児童が多い。 ・計画を立てて家で勉強してる児童が少なく、家での勉強時間も少ない。
	学 校	・国語の勉強が大切だと思っている児童が94%、算数の勉強が大切だと思っている児童が96%いる。英語の勉強が大切だと思っている児童は90%いる。 ・算数の勉強が好きで、社会に出たときに役に立つと思っている児童が多い。 ・道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合っている活動に取り組んでいると答えた児童が多い。 ・8割の児童が自分にはよいところがあると思っているが、2割弱の児童は「当てはまらない・どちらかという当てはまらない」と答えている。
	課 題	・自己有用感が低い児童もいるので、児童のよいところを見つけ、褒めていく機会を多くもっていききたい。 ・家庭での勉強時間が少ない傾向にあるので、家庭学習の仕方や楽しさや必要性を伝え、自主的に学ぶ姿勢を育てていききたい。 ・算数に比べて国語の授業が楽しいと答える児童がやや少なかったもので、授業を工夫し、児童が楽しんで学習に取り組めるように工夫をしたい。